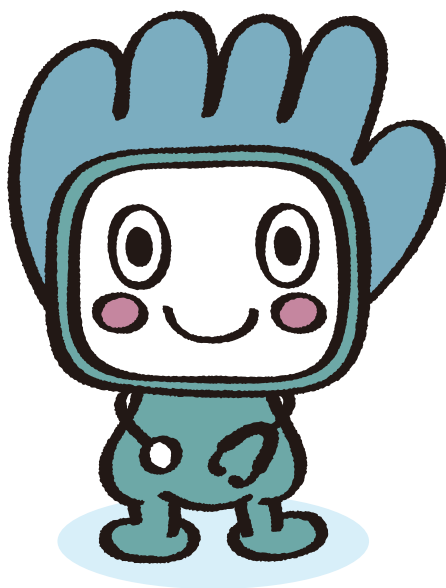


東部病院 ロボット手術 センター

Modern technology that
supports patients and doctors.

患者さんに
最先端の
やさしさを。



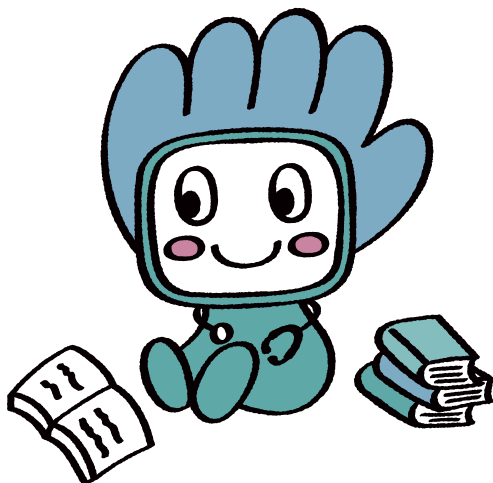
よくわかる東部病院の ロボット支援手術



社会福祉法人 SAISEIKAI YOKOHAMASHI TOBU HOSPITAL
恩賜 財団 済生会横浜市東部病院

ロボット手術センター公式キャラクター

ロボてくん



「ロボてくん」は、当院ロボット手術センターのマスコット。
患者さんご家族にとって、ロボット支援手術がもっと身近な
治療の選択肢になってくれたらとの思いから誕生しました。
「ロボてくん」には患者さん、医師、手術支援ロボットの三者が
手と手を繋ぐ先に未来があるというメッセージがこめられています。

Contents

- ▶ センター長ごあいさつ 3
- ▶ 最新の手術支援ロボット「ダビンチ」 5
- ▶ データでわかる東部病院のロボット支援手術 7
- ▶ 3つのセンターの治療体制 9
- ▶ スタッフのご紹介 11
- ▶ よくあるご質問 13



手術支援ロボット“ダビンチ”とは？

「ダビンチ (da Vinci Surgical System)」とは、米国で開発された手術支援ロボットのこと。1999年の登場以来、世界の医療現場で活躍しています。

豊富な治療実績

当院では2012年に、横浜市で初めてダビンチを導入しました。これまでに、**1,000件以上(2021年7月末現在)の治療実績があります。**



ダビンチの凄さ

360度以上回転するダビンチの鉗子は、人間の手よりも広い範囲に動かせます。細かな操作も手ぶれ補正機能付きだから安心。**安定した手術が可能です。**

良質なロボット支援手術を提供

当院の泌尿器科は、ダビンチ操作のライセンス取得に必要な**手術症例見学の施設に認定されています。**



Greetings from the Director

センター長ごあいさつ

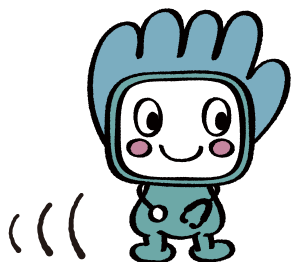


当院では横浜市初となるロボット支援手術を2012年に開始。以来、**精密な手術操作が可能**という特長を活かし、適応手術を順次拡大してまいりました。現在では国内有数の**1,000件以上もの手術経験**を有し、当院が担う高度専門医療の一つとして着実に実績を上げております。

今後も地域の皆さまが安心して高度な医療を受けられるよう、**治療の選択肢のひとつとして「ロボット支援手術」を提供**してまいりますので、どうぞお気軽にご相談ください。

ロボット手術センター長

石田 勝





ごあいさつ

ダビンチについて

データ

治療体制

スタッフのご紹介

よくあるご質問

da Vinci Xi[™]
SURGICAL SYSTEM

最新の手術支援ロボット「ダビンチ」



当院は、2012年に横浜市で初めてダビンチを導入しました。2016年には県内で初めて最新式のダビンチXiにバージョンアップ。2021年7月には2台目のダビンチXiを導入しました。傷口が小さく出血の少ないダビンチは、患者さんの身体的負担が少ない低侵襲手術が可能です。診断から術後のフォローアップまで、患者さんの早期回復を第一に考えています。



傷口が小さい



術後の痛みが
少ない

5つの
メリット



出血が少ない



回復が早い



機能温存の
可能性が高い

ダビンチの特長

POINT 1: ダビンチXiについて



ダビンチXiによる手術は「**腹腔鏡下手術**」の**一種**。医師が4本のアームを操作して、高画質で立体的な3D画像を見ながら病巣を取りのぞきます。

POINT 2: 最先端技術が早期退院に貢献



これまでの腹腔鏡を使った手術よりも**精密で難しい手術**に対応できます。開腹手術と比較し、**術後の痛みと身体への負担も少なく**、早期回復に貢献。

POINT 3: 米国では前立腺がん手術の主流に



がんの取り残しが少ない、術後尿失禁が少ないなどのメリットから、**米国では前立腺がん手術の90%以上にダビンチを採用**しています。

対象疾患

- ✓ 前立腺がん ✓ 腎細胞がん ✓ 膀胱がん ✓ 胃がん
- ✓ 直腸がん ✓ 良性子宮疾患 ✓ 子宮体がん ✓ 骨盤臓器脱
- ✓ 肺がん ✓ 縦隔腫瘍 ✓ 腎盂尿管移行部狭窄症

Tobu Hospital's Robot Surgery Data

データでわかる東部病院のロボット支援手術



当院では2012年以来、ロボット支援手術の実績を重ねてきました。2016年に最新式ダビンチXiを導入してからは、件数が飛躍的にのびて、現在は累計1,000件を越えています。

ロボット支援手術
治療実績 **1,161件** ※2021年7月末現在

最新式
ダビンチXi
導入

最新データは
こちらから



ダビンチ
導入

15

76

72

86

84

2012年度

2013年度

2014年度

2015年度

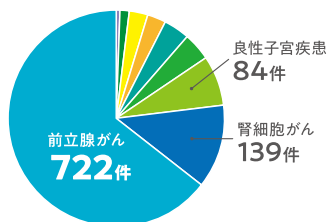
2016年度

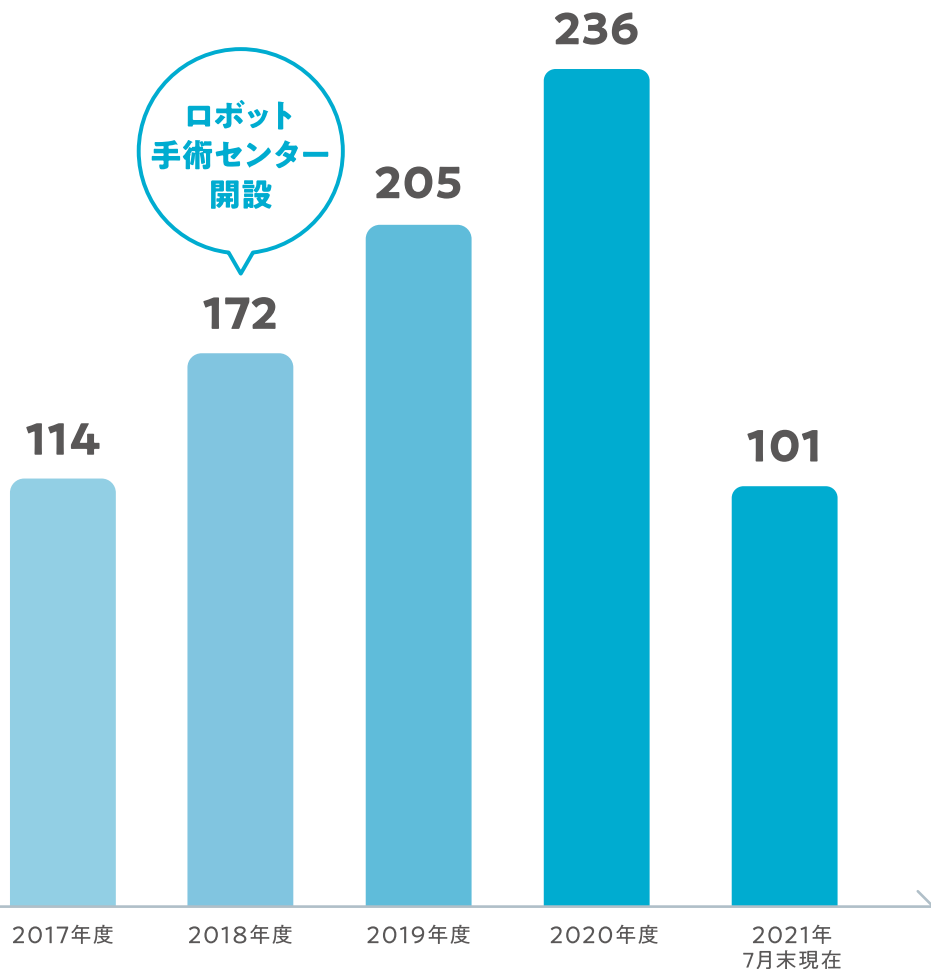
ロボット支援手術の対象疾患

前立腺がん、腎細胞がん、胃がん、膀胱がん、良性子宮疾患、骨盤臓器脱、腎盂尿管移行部狭窄症、肺がん、縦隔腫瘍の手術が保険適用で受けられます。直腸がん、子宮体がん(2022年保険適用予定)手術など、今後も対象手術を拡大していきます。(施設基準に必要な症例数到達までは保険適用外)

保険適用症例数 ※2021年7月末現在

■ 前立腺がん (2012年～) 722件	■ 胃がん (2013年～) 44件
■ 腎細胞がん (2014年～) 139件	■ 骨盤臓器脱 (2018年～) 32件
■ 良性子宮疾患 (2013年～) 84件	■ 肺がん (2020年～) 30件
■ 膀胱がん (2017年～) 46件	■ 腎盂尿管移行部狭窄症 (2018年～) 15件
	■ 縦隔腫瘍 (2020年～) 6件





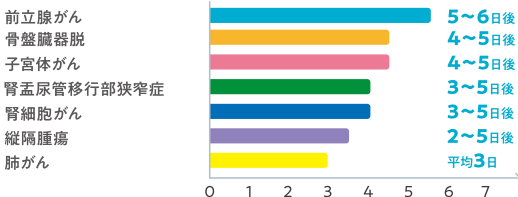
術後の早期回復

同じ内視鏡手術の腹腔鏡下手術と比べて、緻密で複雑な手術操作が可能なのでより難しい手術に対応できます。また、患者さんの身体の負担も少ないため、術後早期に退院できます。

- 1 患者支援センター受診
- 2 手術前日入院
- 3 手術
- 4 手術後約5日*で退院

※詳しくは右図参照

各疾患の術後から退院までの平均日数



The 3 Medical Treatment Centers

3つのセンターの治療体制



保険適用の拡大により、多くの患者さんにロボット支援手術を提供できるようになりました。当院では「ロボット手術センター」「患者支援センター」「東部がんセンター」が連携して、患者さんの術前・術中・術後をしっかりサポートします。

ロボット手術センター

精密動作のダビンチで
安心・安全な治療を提供



ロボット手術の 治療体制



患者支援センター

(TOPS: Tobu Hospital Patient Support Center)

医師や看護師、薬剤師など
一丸となって手厚く支援



東部がんセンター

あらゆるジャンルの専門家が
最善の治療方法を選定



Robotic Surgery Center ロボット手術センター



9名のロボット支援手術認定医が在籍。9種類の手術様式が健康保険適用で受けられます。今後も適用対象を拡大していくほか、有効な治療・手術の情報を集め、より良い医療を提供していきます。



Patient Support Center 患者支援センター



手術準備外来では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士などが患者さんのご質問に随時お答えいたします。また、手術当日の流れや術後の注意点などを解りやすく説明。**患者さんが安心して手術を受けられる環境を提供します。**



Tobu Cancer Center 東部がんセンター

TOBU
Cancer
Center



がんの治療法には、主に外科療法、放射線治療、薬物療法があります。消化器・呼吸器系疾患では内科系・外科系医師たちによるカンファレンスを設け**患者さんの状態やステージに合わせて最も効果のある治療法を検討。**

スタッフのご紹介



ロボット手術センター長 兼 泌尿器科部長

石田 勝 Ishida Masaru

ロボット支援手術により、これまでの内視鏡手術ではできなかった正確で繊細な手術操作が可能になりました。体にやさしいのはもちろん、安全で良質な手術を提供したいと考えております。

泌尿器科医長

小林 裕章 Kobayashi Hiroaki

情報化社会となり患者さんが治療を選ぶ時代になっています。手術療法を希望された患者さんに満足していただける治療が提供できるように日々心がけております。



泌尿器科医員

案納 忠譜 Anno Tadatsugu

ロボット支援手術により繊細な手術が可能になりました。病気の治療に加えて、機能温存や、生活の質を保てるように取り組んでいます。手術の事や心配事など何でもご相談ください。



婦人科部長代理

吉田 卓功 Yoshida Takanori

患者さんにとって負担の少ない医療を目指しています。しっかりご理解いただき、納得できる治療を受けていただけるように最善を尽くします。



当センターのロボット支援手術は、繊細かつスピーディーな技術を持ったロボット手術認定医が担当します。患者さんの目線に立ち、早期退院を支えます。



副院長 兼 消化器・一般外科センター長 兼 外科部長

江川 智久 Egawa Tomohisa

ロボット支援手術は低侵襲であることはもちろん、安全で精緻な手術が可能です。当院ではロボット支援手術が選択でき、胃がん・直腸がん・膵がんで適応可能です。ぜひご相談いただければと思います。

消化器外科医長

西山 亮 Nishiyama Ryo

膵臓の手術は繊細な操作が要求されます。低悪性疾患から可能であれば膵がんまでロボット支援手術による精度の高い低侵襲手術で早い社会復帰を目指しています。



呼吸器外科部長

井上 芳正 Inoue Yoshimasa

肺がんは男女ともに4番目に多いがんです。私たちは患者さんの手術のご負担を極力減らすべく、傷の痛みが小さくなるロボット支援手術に積極的に取り組んでおります。



婦人科医員

田口 圭祐 Taguchi Keisuke

患者さん一人ひとりに最善の治療を受けていただけるよう心がけております。ロボット支援手術含め何でも気軽に相談していただけたら幸いです。



Frequently Asked Questions

よくあるご質問



対象になる病気や費用、予約の方法など、ロボット支援手術にまつわるよくあるご質問に回答します。



ロボット支援手術は誰でも受けられますか？

患者さんの状態やこれまでに受けた手術などによってはロボット支援手術を受けられない場合があります。手術を希望する場合は、**担当医**または**ロボット手術センター**にご相談ください。



ロボット支援手術はどんな病気が対象なの？

対象疾患についてはこちらから



健康保険適用内なら**前立腺がん、腎細胞がん、胃がん、膀胱がん、良性子宮疾患、骨盤臓器脱、腎盂尿管移行部狭窄症、縦隔腫瘍、肺がんの手術が受けられます**。保険適用外では、直腸がん、子宮体がん（2022年保険適用予定）などの手術が対象に。今後、ほかの手術も実施していく予定です。



ロボット（ダビンチ）が手術をするのですか？

ロボットが自動で手術をするわけではありません。ロボットアームの操作は、ロボット支援手術の認定を受けた医師によるもの。**医師が操作しない限りは、ロボットアームは動きません**。



ロボット支援手術を受けるには
どうすれば良いですか？

ロボット手術外来に
ついてはこちらから



ロボット手術担当医による「ロボット手術外来」にお越しください。
当外来は他医療機関からの当院宛ての紹介状をお持ちの患者さんが対象です。**「泌尿器科」「消化器外科」「婦人科」「呼吸器外科」の枠内から電話予約(045-576-3000)が可能です。**また、当院の公式ホームページにある診療予約フォームからの**WEB予約も受け付けています。**



ロボット支援手術のメリットはなんですか？

医師が操る4本のロボットアームのうち、3本は電気メスや鉗子を装着し手ぶれ補正機能によって精密な手術操作が可能です。残り1本のロボットアームはカメラを装着し、手術箇所の拡大・縮小が自由自在。これらの機能により、人間の手では困難だった箇所の手術が可能に。**開腹手術や腹腔鏡手術よりも高い精度を誇ります。**



費用はどれくらいかかりますか？

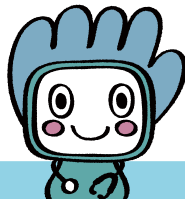
費用に
ついてはこちらから



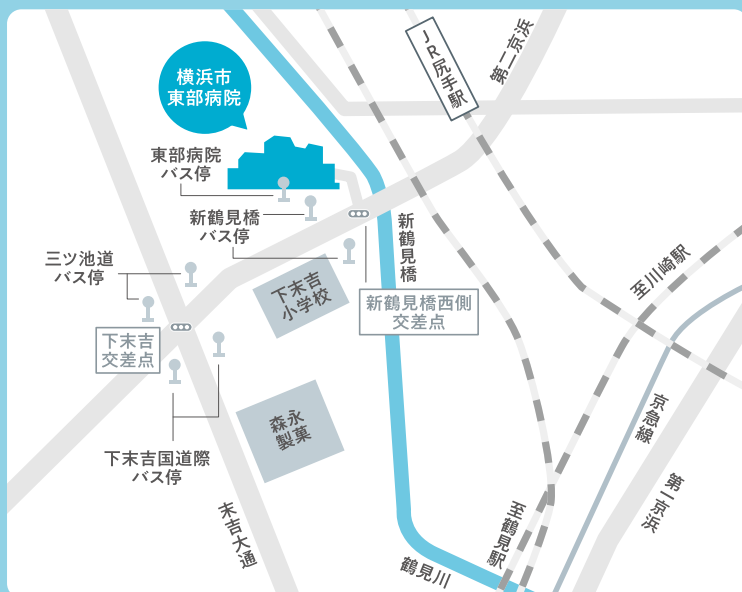
患者さんの年齢により、負担割合が異なります。たとえば、前立腺がん手術なら70歳未満で約45万円、70歳以上で最高約9.3万円の負担額に(入院の日数などにより変動)。高額療養費制度を利用すると所得に応じて実際の負担額は減額されます。**全国共通の制度のため、ほかの医療機関と負担額が大きく変わることはありません。**

＼お任せあれ！／

※最新情報は当院ホームページをご覧ください。



ACCESS



公共交通機関の場合

- JR・京急 鶴見駅から「東部病院行」バスで約10分
「網島行」「新横浜駅行」「一の瀬行」「梶山行」は
三ツ池道下車
- JR・京急 川崎駅から「東部病院行」バスで約10分
「鶴見駅西口行」「横浜駅前行」は新鶴見橋下車
- JR 南武線 尻手駅から徒歩で約15分



車の場合

- 横浜方面から
「岸谷生麦IC」または「子安IC」「馬場出入口」出口をご利用ください
 - 東京方面から
「浜川崎IC」または「汐入IC」出口をご利用ください
- ※上記いずれもからも当院まで約15分。「新鶴見橋西側」交差点をお入りください。

東部病院 ロボット手術センター



<https://www.tobu.saiseikai.or.jp/robotic-surgery-center/>



社会福祉法人 Saiseikai Yokohamashi Tobu Hospital

恩賜財団 済生会横浜市東部病院

初版 2020年12月 第2版 2021年9月

〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 3-6-1
TEL: 045-576-3000 (代表) FAX: 045-576-3525
MAIL: tobu@tobu.saiseikai.or.jp
URL: <https://www.tobu.saiseikai.or.jp/>